

群馬県中小企業団体中央会

平成26年度 第1回理事会を開催

総会提出議案を決定

5月30日 第58回通常総会

平成25年度決算関係書類の承認と、総会提出議案の決定等を審議する今年度第1回目の理事会を、理事27人、監事2人の出席を得て、平成26年4月22日(火)、前橋市・ぐんま共済会議室において開催した。

まず、金子会長が挨拶を行い、「新年度、本会では、中小企業連携組織の活動支援を引き続き積極的に展開していく。併せて、認定経営革新等支援機関としての経営支援、消費税転嫁円滑化、中小企業の海外戦略の支援、環境保全活動の推進についても、積極的に取り組んでいく。国の経済対策関連としては、商業やサービス業まで範囲を広げた『新ものづくり補助金』及び『中小企業人材確保・定着支援事業』『地域商店街活性化事業』への取り組みも行う。26年度においても役員が一丸となって、中小企業の難局打開に向け、事業の推進と充実を努めていく」と述べた。

この後、金子会長が議長となり、総会提出議案に関する議案審議を行った。

平成25年度事業報告書・収支決算書については、「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支

援事業」「人材確保・定着支援事業」の実績と決算も含め詳細に報告した後、植松蔵監事（群馬県紙器段ボール箱（工）理事長）より監査報告がなされた。出席理事より、会員の脱退理由についての質問と、脱退・解散に至る以前での支援によって会員増に結び付けてほしい旨の意見が出された。

事業計画・収支予算では、「組合組織の強化と活動支援」「中小企業経営力強化の支援」「人材確保・育成・定着の支援」等、7項目の重点活動目標を示した。

その他議案も含め、各議案とも原案通り、5月30日(金)に行われる第58回通常総会の提出議案として決定された。

また、第66回中小企業団体全国大会（10月23日、東京・日比谷公会堂）等、主要な行事日程の説明の他、会員対象に行った「消費税引上げに係る緊急調査結果」（6頁参照）を報告した。

◎会議を終えて…

貴重なご意見をいただき機会となりました。5月30日の通常総会には、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

群馬県中小企業団体事務局長会

第44回通常総会・研修会開催

群馬県中小企業団体事務局長会（川岸一義会長、会員45人）では、5月25日、前橋市・ぐんま共済会議室において第44回通常総会を開催した。

田部井俊勝副会長の挨拶の後、来賓の商工中金前橋支店松尾悟志支店長が祝辞を述べた。その後、田部井副会長が議長となり、議案の審議に入った。「平成26年度事業計画」においては、研修会や視察研修の開催、会員の増強等、組合運営にとって参考となり、かつ会員のネットワークを強め、広げるための事業計画が決定された。



田部井副会長

総会終了後、研修会を開催。松尾支店長が「昨今の産業動向」をテーマに講演を行った。

松尾支店長は、世界の海外旅行者数が年間10億人を超え、今後増加が見込まれることから、訪日外国人に合わせた「おもてなし」により、高い経済効果を期待でき

ることを説明した。

次に、商工中金の調査による「景況判断指数の推移」と「売上高水準の推移」の最近の傾向が、リーマン・ショック前の時期の傾向に似ていることを指摘。両者の類似点、相違点を解説した。

最後に「アベノミクス以降の中小企業の景況感は、回復しているが、その恩恵は一部に集中している傾向がある。幅広い業種が成長するためには、政府は第三の矢による日本経済の将来像を示し、民間企業はそれを実現するための行動を起こすことが重要」と結んだ。



松尾支店長

◎事務局長会とは？

先進地への視察研修や様々な分野の研修会を開催する他、会員同士の情報交換・交流の場も設けています。同業種・他業種を問わず様々な情報を入手することができますので、是非ご加入下さい。

事務局長会の概要

正会員資格	県内中小企業団体の事務局長等
共済会員資格	上記団体の事務局長、職員等
主な事業	研修会、視察研修、 各種情報交換、福利厚生他
年会費	正会員 1万5千円 共済会員 2千円

※詳細は、本会情報課までお問い合わせください。



地域商店街活性化事業

本事業は、商店街振興組合等が地域コミュニティの担い手として実施する、「継続的な集客促進」、「需要喚起」、「商店街の体質強化」に効果のある取り組みを支援し、商店街の集客力及び販売力の向上を図ることを目的とし、昨年、事業プランの公募を行いました。

第一次募集で採択された商店街は全国で767件となり、群馬県商店街振興組合連合会の会員組合の取り組みや事業実施後の組合の様子をご紹介します。



映画の撮影風景

本商店街では、「本六ふれあい市」を毎月第1日曜日に定期的に開催しており、18年以上続く恒例のイベントである。この定期市をより多くの人々に知ってもらいたいと、商店街を舞台とした短編映画「ふれあいの鏡」を製作した。

製作にあたっては、地元の自主映画製作団体「桐生ワイワイむすびい部」の協力を得て、商店街の商店主も出演して撮影は進み、昨年11月の初上映を迎えた。作品は、鏡に閉じ込められた女子高生を現実に戻すため、商店街を舞台に映画を作る青年を描くファンタジーロマンスで上映時間は45分。

本六「ふれあいフリーマーケット」再生事業

桐生市本町六丁目商店街振興組合（桐生市）

映画製作は、組合が目指すメディア戦略による情報発信力強化の一環。組合では、今回の映画製作の経験を活かし、商店街内の交流施設内に放送ブースを併設したミニテレビ局「まちなかテレビ桐生スタジオ」を設置した。インターネットを通じてお店のCM動画を流している。また、月一回のペーjsで、店主自らがパーソナリティを務める情報バラエティ番組の放送も予定している。

商店街では、スタジオを備えた交流施設が商店街と市民の新たな交流拠点、情報発信拠点となることを目指している。



本六ふれあい市の様子

人によさしい商店街づくり事業

沼田市中の会商店街振興組合（沼田市）

以前から交流のあった宮城県気仙沼市の復興支援を目的に、「福幸市」とネーミングしたイベントを昨年6月、9月、12月に開催した。本イベントでは、地元の中学校・実業高校と連携し、気仙沼の物産や地元のとれたて野菜の販売を行った。

気仙沼の物産販売では、仕入リストの作成、値付け、当日の販売に至るまで全てを中学生の有志に任せることで、職場体験学習を経験してもらった。



中学生による物産販売

また、仕入先である気仙沼市に中学生を連れて赴き、仕入れた商品の生産現場を見学するなど被災地の復興の様子を学ぶ機会も提供した。

また、沼田市は高齢化率が高く、地域のニーズとして、街中で遊びたいというニーズが高いことが分かり、今回の事業では、こうしたニーズに応えるため、カラオケ発表会やまちなか歴史探訪、市民公開講座の実施を通じて地域コミュニティの形成を図った。



カラオケ大会を応援

本事業に実業高校が参画したことがきっかけとなり、今年夏頃に実業高校のアンテナショップを商店街内にオープンすることとなり、定期的にとれたて野菜などの販売を行うことを予定している。

時代が変化する中で、商店街は地域社会のニーズを的確に捉え、多くの人々に商店街に関わってもらうことで地域の活性化を目指す。

末広ふれあい動物園開催

桐生市末広町商店街振興組合（桐生市）

子供に人気の高い動物に着目し、昨年度は季節毎、商店街内に動物園と水族館を設置した。

夏には、「ふれあい水族館」を開催し、ペンギンやサメ、ヒトデなどの海洋生物の展示を行った。また、商店街の駐車場にスノーマシンを使って雪を降らせた。夏の暑い中、雪遊びで楽しむ子供の歓声と笑顔が絶えないイベントとなった。



雪で遊ぶ子供たち

秋には、恒例の歩行者天国の開催に併せて、「ふれあい動物園」を開催し、羊、ヤギ、ウサギ、ひよこ、ハムスターなどの動物と触れ合うコーナーを設置した。



ふれあい動物園

冬に開催した「ふれあい動物園」は、翌年の干支にちなんでポニーの乗馬体験を実施し、100人以上に乗馬を楽しんでもらった。



ポニーの乗馬体験

当事業を通じて子供たちに動物と触れ合ってもらうことで、商店街に来る楽しさを感じてもらった。特に、スノーマシンによる降雪は大盛況となり、商店街では今年も実施を予定している。